

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	入居者と職員との間で、信頼関係が構築されているが、忙しい時など余裕がなくなり、強い言葉で伝えてしまうことがある。	入居者の思いや、訴えをしっかりと聞き過ぎしやすい環境を作る。全職員が、認知症への理解を深める。	①利用者の思いや、訴えをしっかりと聞ける環境を整える。 ②来年度、1年間を通して、勉強会を開催し学びを深める	12ヶ月
2	36	居室に入室する際に、在室の有無に関わらずノックが出来ていない。	利用者のプライバシーに、配慮する。	①居室に入室する際は、本人の了解を得て必ずノックをする。 ②来年度、1年間を通して、勉強会を開催し学びを深める	12ヶ月
3	10	介護ロボット(離床センサー、眠りスキャン)に関する家族へ説明(使用目的、期間)が不足している。	家族への介護ロボットへの説明理解	①介護ロボットの説明を家族へしっかり行っていく。 ②介護計画書に記入を行う。	12ヶ月
4	35	隙間などのコンセントの誇りの除去ができていない、災害備蓄は、行っているが備蓄品リストがない。	安全確認場所チェック、災害への備えを行う。	①安全確認場所チェックを行っていく。 ②災害備蓄のリスト化	6ヶ月
5	40	入居者が、調理を行う際にエプロンを使用しているが、事業所のエプロンを使用している。	本人のエプロンにて、調理を行う。	①本人用のなじみエプロンを、準備する。無い場合は購入を行う。 ②気持ちの変化を記録に残す。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。